

平成31年3月20日



平成30年名古屋港港湾統計速報

(概況)

入港船舶は、隻数が33,401隻(前年同期比1.4%増)、総トン数が2億3,761万トン(同3.4%増)と、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。

総取扱貨物量は、1億9,652万トン(同0.3%増)と前年実績を上回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車、産業機械等が増加し、5,371万トン(同2.0%増)と前年実績を上回り、輸入もLNG(液化天然ガス)、衣服・身廻品・はきもの等の増加により7,594万トン(同0.9%増)と前年実績を上回り、全体では1億2,965万トン(同1.4%増)と前年実績を上回った。

また、内貿貨物では、移出は3,509万トン(同2.5%減)、移入は3,178万トン(同1.0%減)とともに前年実績を下回り、全体で6,687万トン(同1.8%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出は産業機械等の増加により2,484万トン(同1.2%増)、輸入は衣服・身廻品・はきもの等の増加により2,468万トン(同1.8%増)とともに前年実績を上回り、全体で4,951万トン(同1.5%増)と前年実績を上回った。

コンテナ取扱個数は、外貿コンテナは270万TEU(同4.3%増)となり過去最高となった。内貿コンテナは18万TEU(同9.7%減)となり、外内貿合わせて288万TEU(同3.3%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位5ヶ国を見ると、輸出においては、中国が自動車部品等の減少により678万トン(同6.1%減)、アメリカが完成自動車等の増加により438万トン(同5.8%増)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により416万トン(同4.6%増)、タイが自動車部品等の増加により258万トン(同4.6%増)、オーストラリアが非金属鉱物等の減少により237万トン(同13.2%減)となった。

一方、輸入においては、オーストラリアが鉄鉱石、LNG(液化天然ガス)等の減少により1,433万トン(同4.5%減)、中国が鉄鉱石等の増加により1,357万トン(同8.6%増)、カタールがLNG(液化天然ガス)等の増加により703万トン(同7.5%増)、アメリカがとうもろこし等の増加により528万トン(同1.4%増)、マレーシアがLNG(液化天然ガス)等の増加により381万トン(同12.6%増)となった。

(問合せ先)

名古屋港管理組合企画調整室統計センター

担当：北村、久米(TEL: 654-8019<内線2923>)

平成30年 港湾統計

(単位：隻・総トン)

入港船舶	平成30年		平成29年		前年比 (%)	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
総数	33,401	237,613,438	32,948	229,890,733	101.4	103.4
外航船舶	8,008	197,813,120	7,830	191,281,173	102.3	103.4
内数 コンテナ船	4,133	89,647,200	3,990	88,151,873	103.6	101.7
内航船舶	25,393	39,800,318	25,118	38,609,560	101.1	103.1

(単位：トン・TEU・台)

取扱貨物量		数量		数量		前年比 (%)		
総数		196,518,956		195,968,495		100.3		
外 貿	計(トン)	129,648,774		127,883,317		101.4		
	輸出	53,710,977		52,658,299		102.0		
	輸入	75,937,797		75,225,018		100.9		
内 貿	計(トン)	66,870,182		68,085,178		98.2		
	移出	35,091,221		35,984,972		97.5		
	移入	31,778,961		32,100,206		99.0		
コ ン テ ナ 計	ト ン 数	計(トン)	50,157,789		49,672,977		101.0	
		輸移出	25,267,715		25,052,099		100.9	
		輸移入	24,890,074		24,620,878		101.1	
	個 数	計(TEU)	2,876,263		2,784,109		103.3	
		輸移出	1,439,219		1,395,843		103.1	
		輸移入	1,437,044		1,388,265		103.5	
外 貿 コ ン テ ナ	ト ン 数	計(トン)	49,514,715		48,786,871		101.5	
		輸出	24,835,591		24,542,767		101.2	
		輸入	24,679,124		24,244,104		101.8	
	個 数	計(TEU)	2,699,626		2,588,601		104.3	
		輸出	1,400,634		1,350,577		103.7	
		輸入	1,298,992		1,238,024		104.9	
内 貿 コ ン テ ナ	ト ン 数	計(トン)	643,074		886,106		72.6	
		移出	432,124		509,332		84.8	
		移入	210,950		376,774		56.0	
	個 数	計(TEU)	176,637		195,508		90.3	
		移出	38,585		45,267		85.2	
		移入	138,052		150,241		91.9	
フ ェ リ ー 貨 物 (内 貿 内 数)	一 般 乗 用 車 (台)	計(台)	19,500		19,241		101.3	
		移出	9,442		9,677		97.6	
		移入	10,058		9,564		105.2	
	一 般 貨 物 車 (台)	計(台)	39,275		40,079		98.0	
		移出	20,272		20,517		98.8	
		移入	19,003		19,562		97.1	
	そ の 他 貨 物	計(トン)	456,640		446,815		102.2	
		移出	310,480		308,685		100.6	
		移入	146,160		138,130		105.8	

外貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	53,710,977	102.0	合 計	75,937,797	100.9
完成自動車	25,996,564	101.9	LNG(液化天然ガス)	16,700,199	100.5
自動車部品	10,391,023	100.2	鉄鉱石	10,907,422	100.4
産業機械	3,217,906	113.2	原油	7,544,256	99.0
鋼材	2,365,297	96.2	石炭	5,663,098	100.0
その他化学工業品	1,641,754	107.7	衣服・身廻品・はきもの	2,955,326	102.9
その他	10,098,433	101.5	その他	32,167,496	101.8

外貿主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比(%)	国・地域名	トン数	前年比(%)
合 計	53,710,977	102.0	合 計	75,937,797	100.9
中国	6,784,765	93.9	オーストラリア	14,328,944	95.5
アメリカ	4,377,871	105.8	中国	13,566,593	108.6
アラブ首長国	4,162,810	104.6	カタール	7,030,702	107.5
タイ	2,577,837	104.6	アメリカ	5,280,084	101.4
オーストラリア	2,369,936	86.8	マレーシア	3,810,045	112.6
その他	33,437,758	104.1	その他	31,921,429	97.9

内貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	35,091,221	97.5	合 計	31,778,961	99.0
完成自動車	23,283,460	99.7	完成自動車	13,321,378	96.9
鉄鋼	1,481,093	93.4	鋼材	4,695,492	97.7
揮発油	1,282,810	全増	化学薬品	1,833,584	105.0
その他の石油	1,170,660	42.1	揮発油	1,699,996	全増
鋼材	1,161,229	91.9	セメント	1,693,830	115.6
その他	6,711,969	96.1	その他	8,534,681	82.5

内貿主要上位港取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比(%)	港 名	トン数	前年比(%)
合 計	35,091,221	97.5	合 計	31,778,961	99.0
仙台塩釜	6,885,800	98.8	仙台塩釜	3,835,415	99.4
苫小牧	5,647,260	101.6	水島	2,885,914	100.8
千葉	3,772,836	91.6	中津	2,585,720	86.0
川崎	3,147,808	97.6	四日市	2,414,435	96.2
北九州(門司)	1,903,441	95.3	苫小牧	2,277,951	88.1
その他	13,734,076	97.3	その他	17,779,526	102.9

外貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	24,835,591	101.2	合 計	24,679,124	101.8
自動車部品	10,385,848	100.3	衣服・身廻品・はきもの	2,955,326	102.9
産業機械	2,781,633	111.3	自動車部品	2,189,544	95.0
完成自動車	1,951,315	106.8	輸送用容器	1,817,397	95.4
その他化学工業品	1,640,581	107.9	電気機械	1,808,519	108.1
ゴム製品	1,060,857	91.0	その他化学工業品	1,660,015	110.6
その他	7,015,357	97.8	その他	14,248,323	101.9

外貿コンテナ主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比(%)	国・地域名	トン数	前年比(%)
合 計	24,835,591	101.2	合 計	24,679,124	101.8
中国	5,760,392	92.9	中国	10,635,827	99.7
アメリカ	3,158,199	95.0	台湾	1,507,067	133.5
タイ	1,910,003	109.3	ベトナム	1,418,526	106.5
南アフリカ	952,543	109.5	アメリカ	1,416,110	85.5
オランダ	920,432	107.3	タイ	1,405,433	97.2
その他	12,134,022	105.1	その他	8,296,161	103.5

内貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

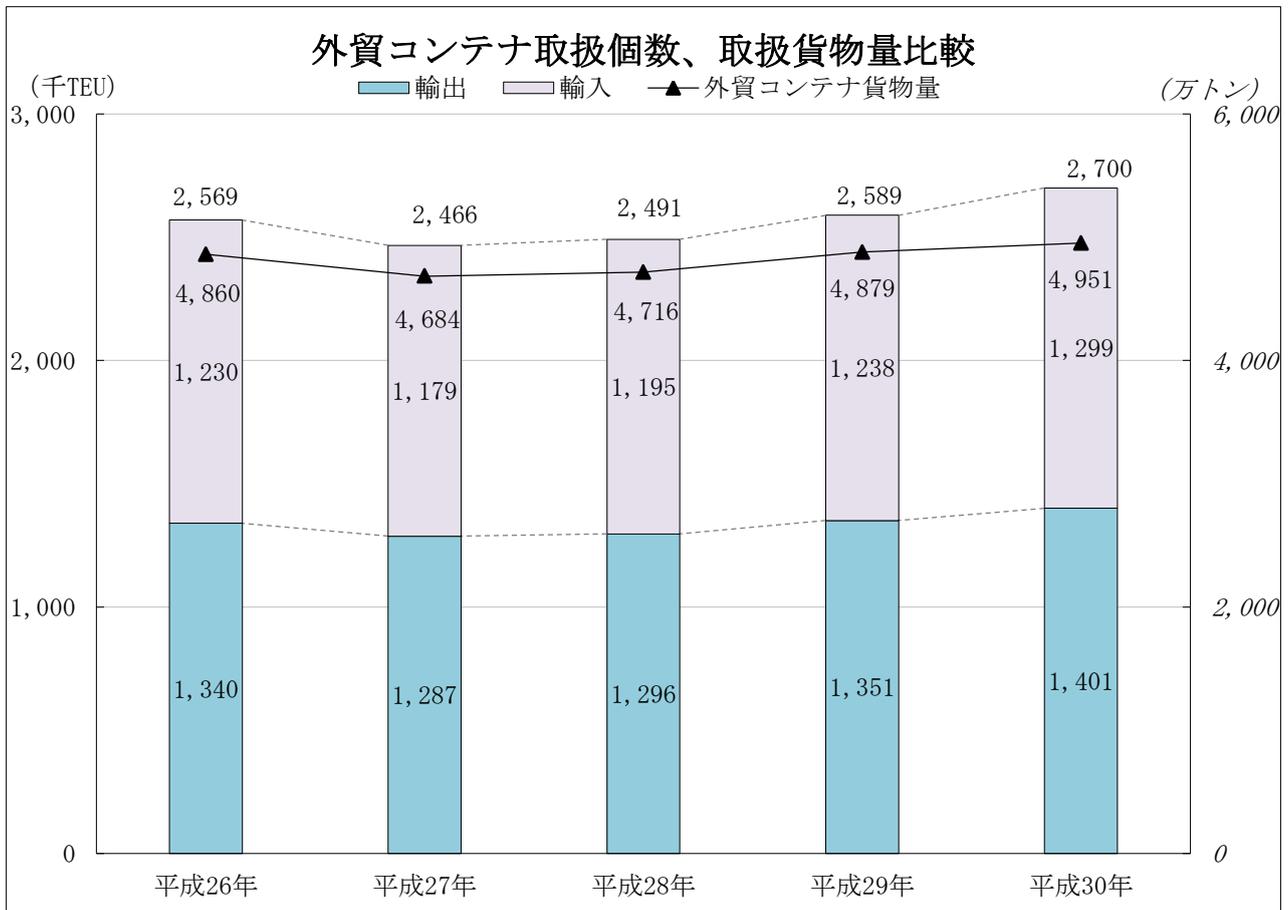
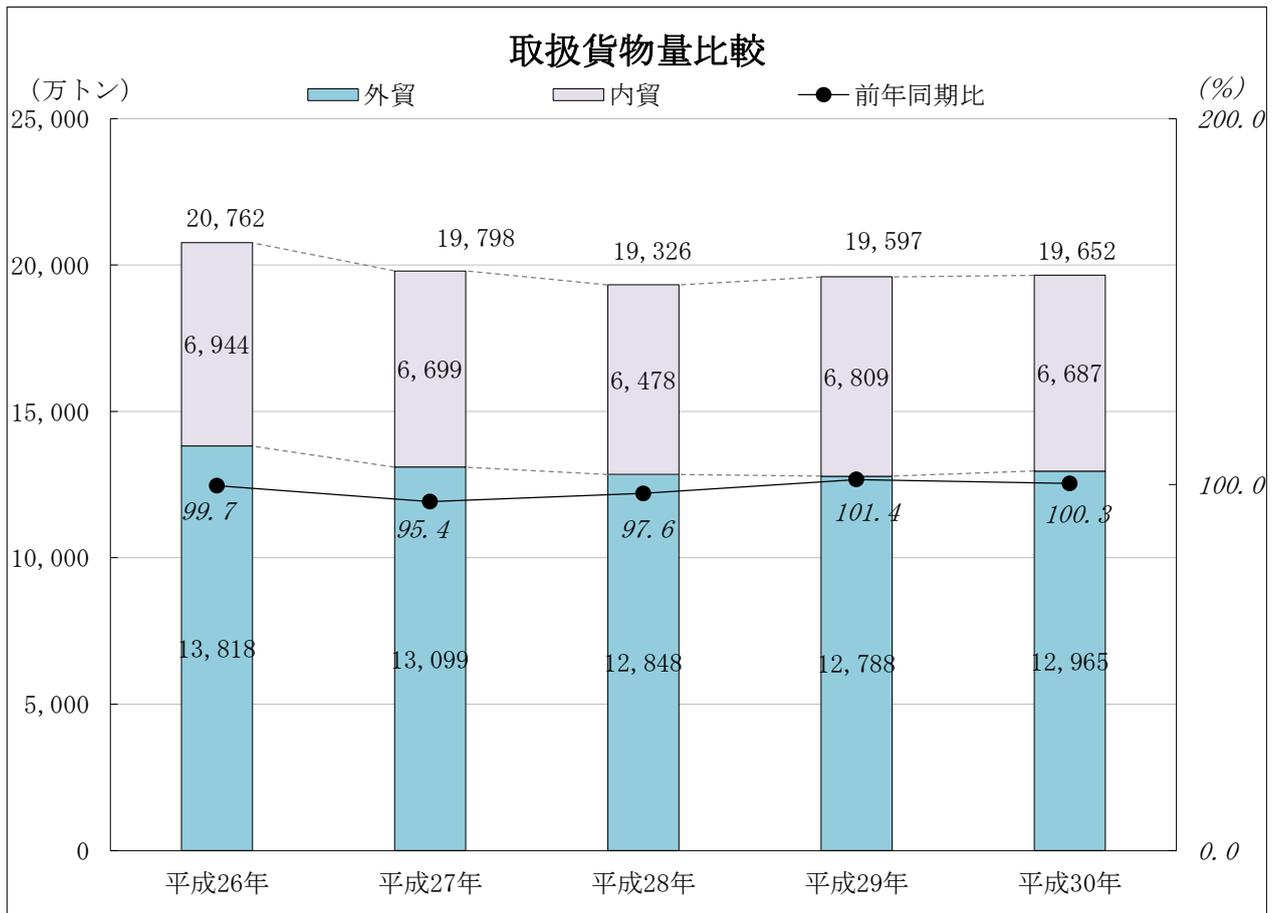
(単位：トン・%)

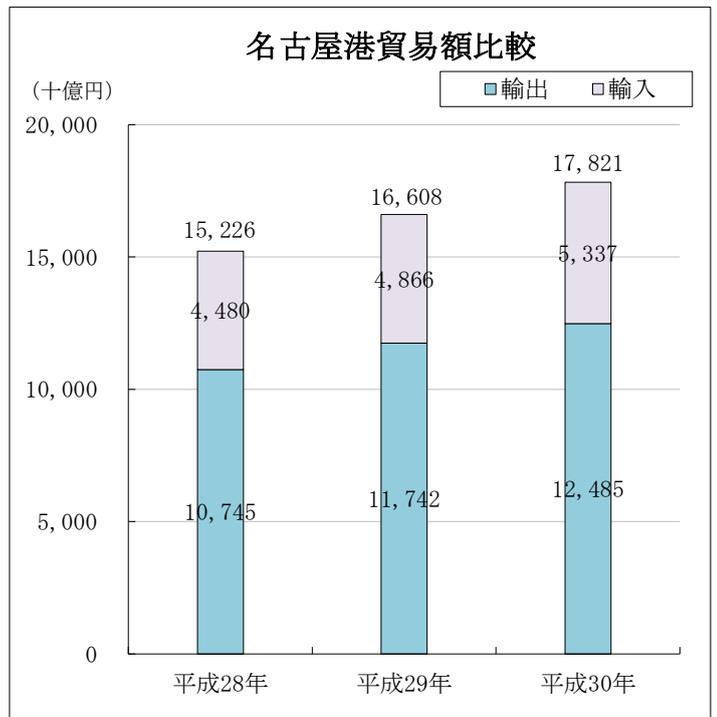
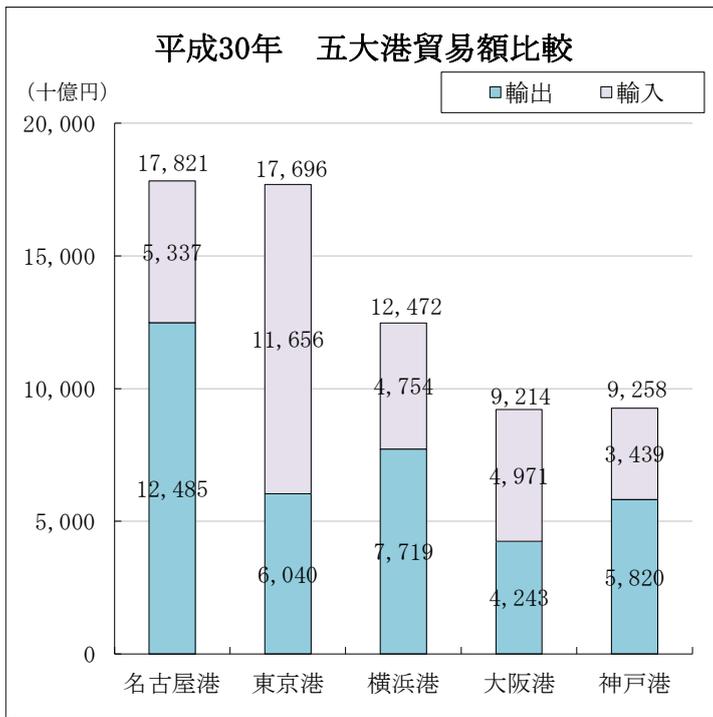
移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	432,124	84.8	合 計	210,950	56.0
自動車部品	354,736	80.7	自動車部品	110,910	68.3
家具装備品	61,445	95.8	製造食品	14,665	117.3
取合せ品	3,250	1747.3	動植物性製造飼肥料	13,710	56.7
その他日用品	2,132	5466.7	輸送用容器	11,155	28.5
輸送用容器	2,099	144.4	その他農産品	6,256	71.7
その他	8,462	232.6	その他	54,254	41.8

内貿コンテナ主要上位港取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比(%)	港 名	トン数	前年比(%)
合 計	432,124	84.8	合 計	210,950	56.0
横浜	192,518	68.8	横浜	104,261	70.3
東京	154,759	109.9	東京	80,015	63.9
川崎	66,318	84.0	博多	10,800	43.8
那覇	10,236	全増	北九州(門司)	5,592	51.5
神戸	5,482	261.3	神戸	2,556	6.5
その他	2,811	36.9	その他	7,726	27.1





財務省資料による

五大港貿易額比較表

平成30年

港名	年	輸出			輸入			合計		
		貿易額 (百万円)	五大港 構成比(%)	全国 構成比(%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比(%)	全国 構成比(%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比(%)	全国 構成比(%)
名古屋港	平成30年	12,484,522	34.4%	15.3%	5,336,835	17.7%	6.5%	17,821,357	26.8%	10.9%
	平成29年	11,742,128	34.4%	15.0%	4,865,646	17.0%	6.5%	16,607,774	26.5%	10.8%
	前年比(%)	106.3%			109.7%			107.3%		
東京港	平成30年	6,039,750	16.6%	7.4%	11,656,455	38.7%	14.1%	17,696,206	26.6%	10.8%
	平成29年	5,862,127	17.2%	7.5%	11,701,087	40.8%	15.5%	17,563,214	28.0%	11.4%
	前年比(%)	103.0%			99.6%			100.8%		
横浜港	平成30年	7,718,697	21.3%	9.5%	4,753,762	15.8%	5.7%	12,472,459	18.8%	7.6%
	平成29年	7,177,217	21.1%	9.2%	4,133,560	14.4%	5.5%	11,310,776	18.0%	7.4%
	前年比(%)	107.5%			115.0%			110.3%		
大阪港	平成30年	4,242,687	11.7%	5.2%	4,971,306	16.5%	6.0%	9,213,994	13.9%	5.6%
	平成29年	3,674,184	10.8%	4.7%	4,755,320	16.6%	6.3%	8,429,504	13.4%	5.5%
	前年比(%)	115.5%			104.5%			109.3%		
神戸港	平成30年	5,819,818	16.0%	7.1%	3,438,548	11.4%	4.2%	9,258,366	13.9%	5.6%
	平成29年	5,631,705	16.5%	7.2%	3,235,572	11.3%	4.3%	8,867,277	14.1%	5.8%
	前年比(%)	103.3%			106.3%			104.4%		
五大港計	平成30年	36,305,475	100.0%	44.6%	30,156,906	100.0%	36.5%	66,462,381	100.0%	40.5%
	平成29年	34,087,361	100.0%	43.5%	28,691,185	100.0%	38.1%	62,778,545	100.0%	40.9%
	前年比(%)	106.5%			105.1%			105.9%		
全国計	平成30年	81,478,753		100.0%	82,703,304		100.0%	#####		100.0%
	平成29年	78,286,457		100.0%	75,379,231		100.0%	#####		100.0%
	前年比(%)	104.1%			109.7%			106.8%		

財務省資料による

平成30年（12月累計）港湾統計速報（解説）

1 入港船舶（1 ページ）

- ・入港船舶の総数は、前年比で隻数は1.4%増加し、総トン数も3.4%増加した。
- ・このうち外航船舶については、隻数、総トン数ともに前年比を上回った。
- ・外航コンテナ船についても、隻数、総トンともに前年比を上回った。
- ・内航船舶についても、隻数、総トン数ともに前年比を上回った。

2 取扱貨物量（1 ページ）

- ・総取扱貨物量は1億9,652万トン、前年比0.3%増となった。
- ・外貿は、輸出で鋼材が減少したが、完成自動車、産業機械が増加し、前年比を上回った。輸入は、原油が減少したが、衣類・身廻品・はきものは増加し、前年比を上回った。外貿全体では1億2,965万トン、前年比1.4%増となった。内貿は移出入ともに減少し、内貿全体では6,687万トン、前年比1.8%減となった。
- ・コンテナ取扱個数は288万TEU、前年比3.3%増となった。そのうち、外貿コンテナ取扱個数は270万TEU、前年比4.3%増となった。

3 外貿貨物（2 ページ）

- 輸出
- ・完成自動車は、アメリカ、クウェート等で増加し、前年比49万トン増（1.9%増）となった。
 - ・自動車部品は、シンガポール、ロシア等で増加し、前年比2万トン増（0.2%増）となった。
 - ・産業機械は、中国、インド等で増加し、前年比37万トン増（13.2%増）となった。

- 輸入
- ・LNG（液化天然ガス）は、マレーシア、カタール等で増加し前年比8万トン増（0.5%増）となった。
 - ・鉄鉱石は、中国、南アフリカ等で増加し、前年比4万トン増（0.4%増）となった。
 - ・原油は、サウジアラビア、ロシア等で減少し、前年比7万トン減（1.0%減）となった。

<上位国>

- 輸出
- ・中国は、自動車部品、再利用資材等の減少により前年比44万トン減（6.1%減）となった。
 - ・アメリカは、完成自動車等の増加により前年比24万トン増（5.8%増）となった。
 - ・アラブ首長国は、完成自動車、非金属鉱物等の増加により前年比18万トン増（4.6%増）となった。

- 輸入
- ・オーストラリアは、鉄鉱石、LNG（液化天然ガス）等の減少により前年比 67 万トン減（4.5%減）となった。
 - ・中国は、鉄鉱石、金属製品等の増加により前年比 108 万トン増（8.6%増）となった。
 - ・カタールは、LNG（液化天然ガス）等の増加により前年比 49 万トン増（7.5%増）となった。

4 内貿貨物（2 ページ）

- 移出
- ・完成自動車は、千葉、横浜等で減少し、前年比 8 万トン減（0.3%減）となった。
 - ・鉄鋼は、姫路等で減少し、前年比 11 万トン減（6.6%減）となった。
- 移入
- ・完成自動車は、中津、仙台塩釜等で減少し、前年比 42 万トン減（3.1%減）となった。
 - ・鋼材は、大分、姫路等で減少し、前年比 11 万トン減（2.3%減）となった。

5 コンテナ貨物（3 ページ）

外貿コンテナ

- 輸出
- ・自動車部品は、シンガポール、ロシア等で増加し前年比 3 万トン増（0.3%増）となった。
 - ・産業機械は、中国、インド等で増加し、前年比 28 万トン増（11.3%増）となった。
 - ・完成自動車は、南アフリカ等で増加し、前年比 12 万トン増（6.8%増）となった。
- 輸入
- ・衣服・身廻品・はきものは、ベトナム、韓国等で増加し、前年比 8 万トン増（2.9%増）となった。
 - ・自動車部品は、ベトナム、韓国等で減少し、前年比 11 万トン減（5.0%減）となった。
 - ・輸送用容器は、アメリカ、中国（ホンコン）等で減少し、前年比 9 万トン減（4.6%減）となった。

<上位国>

- 輸出
- ・中国は、自動車部品、再利用資材等が減少し、前年比 44 万トン減（7.1%減）となった。
 - ・アメリカは、自動車部品、電気機械等が減少し、前年比 17 万トン減（5.0%減）となった。

- ・タイは、自動車部品、再利用資材等が増加し、前年比 16 万トン増（9.3%増）となった。

- 輸入
- ・中国は、家具装備品、衣服・身廻品・はきもの等が減少し、前年比 3 万トン減（0.3%減）となった。
 - ・台湾は、その他化学工業品、家具装備品等が増加し、前年比 38 万トン増（33.5%増）となった。
 - ・ベトナムは、衣服・身廻品・はきもの、輸送用容器等が増加し、前年比 9 万トン増（6.5%増）となった。

内貿コンテナ（3 ページ）

- 移出
- ・自動車部品は、横浜が減少し前年比 9 万トン減（19.3%減）となった。
 - ・家具装備品は、川崎が減少し、前年比 3 千トン減（4.2%減）となった。

- 移入
- ・自動車部品は、横浜等で減少し、前年比 5 万トン減（31.7%減）となった。
 - ・製造食品は、横浜等で増加し、前年比 2 千トン増（17.3%増）となった。

6 貿易額（5 ページ）

- ・名古屋港の平成 30 年 12 月累計の貿易額は、五大港中、輸出額が第 1 位、輸入額が第 2 位、合計では前年比 7.3%増の 17 兆 8,214 億円で第 1 位となった。
- ・貿易黒字額は前年比 4.0%増の 7 兆 1,477 億円で五大港中 1 位となった。